

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人W i t h 優		
事業名	子どもや若者が安心して家出できる「第2の家」の運営事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ型） 【テーマ：イオン・さくらんぼWAON 子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	米沢市	事業費	994,707円
		うち助成金額	920,000円
事業実施期間	令和5年6月12日から令和6年2月29日まで		

事業目的・実施内容	<p>（事業目的） 学校に行くことが出来ない、ただそれだけでそれまでの家族との関係性が変わり、本来安心できるはずの家庭の中でも孤立してしまうケースもある。また、不登校の背景にネグレクト等の問題があったりする場合もあるが、引きこもり支援も同様に、なかなか家庭の中に介入できないのが現状である。本事業では、様々な事情を抱えた子どもや若者が安心して短期間生活できる「第2の家」を運営し、家族や学校の先生以外の他者とも関わり、繋がるための時間を作ることで、家族との関係性の改善を目的とした。</p>
	<p>（実施内容） 本事業では、不登校状態にある子ども達、引きこもり状態にある若年層に限らず、学校に行っている子ども達も対象に、様々な事情を抱えて自宅から一歩を踏み出してみたいという方が短期間生活出来る場を米沢市内の一軒家を使用して実施した。 実利用者として小学生3名、中学生1名、高校生7名、20代1名、30代1名、50代1名の計14名が利用した。利用日数は81日であった。 学齢期のお子さんで生活支援が必要な方は、スタッフも一緒に寝泊まりし、生活面のサポートも行った。就労段階にある方についてはその方のニーズに合わせて法人の自立支援プログラムを組み合わせ、支援を行った。他に、生活に困窮している世帯のお子さんを対象に、夏休みに自然体験を中心とした1泊2日の体験イベントを8月7～8日にかけて飯豊町の白川荘で開催、市教育委員会のスクールソーシャルワーカーとも連携を図り、小学生から高校生まで18名が参加した。虫捕りや川遊び、木工教室や陶芸体験も実施した。 先進地研修としては札幌市の「いとこんち」を9月5日に視察に伺い、(一社)ソーシャルペタゴジーネットの代表の松田さんに話を伺い、各拠点を視察させていただき、制度の狭間で孤立する子ども達をどのようなネットワークを組んで支援しているのか研修させていただいた。</p>



第2の家のポスト



先進地研修・札幌 いとこんちにて

事業の成果

第2の家の運営においては、学齢期のお子さんについては、事前・事後に学校やスクールソーシャルワーカーとも連携し、受け入れを行った。就労段階にある方については希望する方には就労支援や自立支援を一体的に行い、本事業利用後に1名が引きこもり状態から就労に繋がり、他1名は1人暮らしを始めることが出来た。

夏季宿泊体験イベントについても参加した18名全員が事後アンケートで参加して良かったとの回答で、中には初めて旅館に泊まる子や、初めて親から離れて宿泊できた子どももいた。県内放送で1時間ドキュメンタリー番組が放送された他、10分程度の特集番組として4回放送いただいた。

今後の展望

「第2の家」の継続した運営については小学生から成人層までニーズが幅広く、且つ行政からの補助金を見込めるような事業でもないために、助成金を活用する等の方法も考えられるが、令和5年度には「働きたい若者をスーツで応援するプロジェクト」も市内クリーニング店と連携して立ち上げ、今後、その売上等も運営の補助にし、継続して運営できるようにしていきたい。

制度の狭間のニーズに対応する上では自主事業として運営できれば良いが受益者負担が厳しいケースも多く、本事業の受け入れや実績について継続して発信し、より多くの人から寄付等の支援を受けることが出来るようにしていきたい。



夏季イベントでの川遊び



夏季イベントでのスイカ割り



夏季イベントにて宿泊した旅館前にて

団体概要

団体名 特定非営利活動法人W i t h 優

代表者 白石祥和

URL [http:// www.with-yu.net](http://www.with-yu.net)